

# “ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE “

西条 RC 2017-18 テーマ「足元を見つめなおしてみよう！ロータリーに変化を」

国際ロータリー第 2710 地区 グループ 8

西条ロータリークラブ 週報 No.2596 2017年8月17日 8月第2例会



ロータリー：  
変化をもたらす

本日のプログラム <西条RCの歴史を振り返り（東広島RC創立よもやま話） 中前恒則 元会員>

## 8/3 会長時間 金好会長



皆さん、こんにちは。

まずは、先週のガバナー公式訪問が皆様のご協力を持ちまして無事終了致しました事、心より感謝申し上げます。そして本日は、クラブフォーラムのなかでも大切なテーマでありました、会員増強に関して委員長そして若き会員 2 名の方から卓話をして頂きます。楽しみにしておりますので宜しくお願い致します。

さて、本日は、「ロータリーの友」7月号を読んでいたところ、会員増強に関する興味深い記事がございましたので紹介させていただきます。横浜南陵クラブには、クラブの歌があるそうです。その曲の名は、「ヨコハマ・ベイロータリー」で歌詞を紹介させていただきます。

『この海は風となって世界につながっている、やっと知り合ったんだもの、ずっと友達でいよう、たかがロータリー気楽にやろう、されどロータリー力ためそう、ここがここが我らのステージ。人が人を想う心に国境はない、ちょっと素敵な眼をした友達が入ってきた、たかがロータリー明るくやろう、されどロータリー愛与えよう、ここがここが我らのステージ。』

「人が人を想う心に国境はない」国境やバリアがあっても行き来ができなくても、心にはバリアがありません(国際奉仕)、「ちょっと素敵な眼をした友達が入ってきた」昨日まで知らなかった人と知り合いロータリーアンになった(会員増強)、そして同じステージに立つ会員同士、ずっと友達でいよう(会員維持・退会防止)、「たかがロータリー明るくやろう」毎週会う仲間です、気楽に例会出席し、気楽に他クラブへメークアップし、多くの知人を作りましょう(出席率と親睦)、されど委員会や会長、幹事にノミネートされれば自分の実力をこのステージで発揮することです。ロータリーアンたる精神が巧妙に込められた歌ではないでしょうか。今こそ、この歌の精神がより必要な時代になっているのかもしれない。

一度、横浜南陵 RC のホームページを覗いてみてください。

### ◆◆◆ プログラムの予告 ◆◆◆

8月24日(木) 新入会員卓話 和田隆雅 会員

8月31日(木) 新入会員卓話 坂田和紀 会員

9月7日(木) 西条RCの歴史を振り返り(ハンマウム福祉会よもやま話) 本田逸男 会員

9月9日(土) 家族例会(銀河クルージング) 9月14日の振替

9月21日(木) 例会休み

★Memo★

### <会員組織増強委員会 高原委員長>

本年度会員組織増強委員会では、会員組織の増強はクラブの長く将来に亘る活動には欠かせない大きな課題であり、既存会員の退会防止を図ることはもちろんのこと、魅力あるロータリー活動をPRしていき、新しい会員の獲得に委員会が一丸となってつとめてまいります。純増3名以上を目標としておりましたが、委員会9名一人1名の勧誘を目指すことに致しました。



西条ロータリークラブの現状としましては

① 会員の増強と新入会員の退会防止と事業予算の変遷があります。

1998-1999 年度平成 11.6.30 現在会員 68 名事業予算 3336 万円事業費 726 万円。

2016-2017 年度平成 28.6.30 現在会員 41 名事業予算 2202 万円事業費 694 万円となり、段々と、会員数と事業予算も減少していることが分かります。2015-2016 年度末は会員 41 名純増 2 名内訳新入会員 7 名、退会者 5 名、2016-2017 年度末は会員 40 名純増 0 名、内訳新入会員 2 名、退会者 3 名、でした。本年度は転勤による退会者があり 38 名スタートとなりました。毎年度西条 RC では退会者と入会者を差し引きしたらマイナスになるような状況をさまよっております。

② 会員の出席 100%の伝統がありましたが、会員の意識の変化によりミーキャップをしないこともあるようです。

③ 会員の構成 年齢層 40代4名 50代10名、平均年齢 63.87歳となっております。

④ 現在女性会員 3名(上田氏、小松氏、三木氏)の現状です。

そこで、今年度の会員組織増強委員会といたしましては

○事業計画においては、会員増強純増3名以上ですが、委員一人1名勧誘する。

○職業分類の未充填分類を重点的に勧誘する。

○誰をどのようにいつ入会の勧誘をするか? においては、

○男・女を問わず、ふさわしい人、成長が期待される人を入会推進・勧誘する。

→人間本位で選ぶ。

→JC卒業者 40代~50代を中心に選ぶ。

→経営者 マツダ会など東広島市を中心とした地域に職域等を持つ方を中心に選ぶ。

時期としては今年度上半期 12月までに目標を達成するように努力したいと思います。

○今後すべての例会に、ご友人とかお知り合いの方に例会にオブザーバーとしてご出席いただき、西条ロータリークラブを理解していただき、入会を推進したいと思っております。この同伴例会の開催についてですが、会員の皆様にも入会の勧誘にご協力いただきたいと思います。いつでもよろしいので、私か事務局にご一報くださいませ。例会のご参加について、お食事も含め準備させていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

尚、本日は、武島会員と菅生会員に会員増強について続いてお話をさせていただきます。

### <会員組織増強委員会 武島委員>



幹事としての立場と会員組織増強委員会メンバーとしての立場から

本日のテーマ「皆さん一緒に増やしましょう」と題してお話させていただきます。

会員増強を行ううえでの重要チェックポイントは、①「どうすれば増えるのか」を議論すること。②「増えないことの問題点をピックアップ」すること。③「ロータリーのイメージ」というものが非常に重要な要素であるということ。④「ロータリーのことをどう理解されているのか、どういうイメージを持っているか」を調査することと考えます。

「増やすための着目点」については、RI会長は「ロータリーはどのような団体かではなく何をしているかの定義」に、「自分たちの目指すべき方向を明確に表現し、具体的に伝えられるかどうか」と述べられています。

会長賞2-1~2-4があり、2-4会員増強のヒントとしましては、リクルートの際は簡潔に表現できないと伝わらないと言うことであります。

私自身がリクルートするときのヒントは「大人の公共心と子どもの公共心」ではないかと思います。公共心が良くなればクラブと地域社会との関係も良くなり入会の関心も高まるのではないのでしょうか。

「変化をもたらすクラブ活動について魅力あるストーリーを伝えることで地域社会のなかでクラブの公共イメージを良く透明性を増しロータリーの認知度を高める」ことが重要であると考えます。「ロータリーの基本理念並びに価値観を保ったまま、次第に柔軟な受入れ体制を整える」ことが基本であると思います。

続きまして、「ロータリーを欲しがっている人を探し、きちんと説明しよう」であります。

リクルートを通じて、「自分の入るような団体ではないと思い込んでいる」人が多いです。しかし、そのような人たちにも、ロータリークラブの活動について、きちんと説明すれば、必ず理解も深まると実感しています。実際、「先輩、後輩の関係の中で楽しむだけでなく、自分自身の成長につながる集まり」への入会を望んでいる人もいまして、そのような人たちに対して、ロータリークラブの職業奉仕を通じた活動について、わかりやすく説明することを継続的に行うことが重要と考えます。

#### <会員組織増強委員会 管生委員>



まずは、マクロ的な視点から、西条ロータリークラブの置かれている環境を整理いたしますと、営利組織である企業と異なり、非営利組織であります。

しかし、非営利組織だからと言って、社会変化と無縁ではられません。

ここで、ベストセラーになっている人口問題の専門家 河合雅司氏の著書、「未来の年表 人口減少日本これから起きること」より引用いたします。

例えば、広島大学も文部科学省の管理下にある非営利組織のひとつですが、2018年には、18歳人口が大きく減り始めるため、国立大学でさえ運営難にさらされることとなります。

現在、120万人いる18歳人口は、10年後には、100万人前後まで減るため、定員割れで閉鎖する大学が続出すると言われております。

一方企業も激動の時代の荒波を被ることとなります。

このまま推移すると、2030年には、労働力人口が現在よりも約900万人減少し、企業などの営利組織、自治体・大学を含めた非営利組織の必要人員が不足し、社会全体の機能不全が予測されます。

日本が直面する4つの課題

1. 出生数の減少(2016年は100万人を切った。)
2. 高齢者の激増
3. 勤労世代の激減に伴う社会の支え手の不足
4. 1~3が絡み合っ起こる人口減少

藤中ガバナーも発言されていましたが、上記のトレンドで言うと、西条ロータリークラブの会員数は、成り行きに任せると当然のことですが、減少していきます。

そして、人口減少の嵐に巻き込まれて混乱する社会の中で、西条ロータリーの在り方を見直さなければ、組織の存続も危ぶまれる事態に陥りかねないということとなります。

しかしながら、西条地区は、広島市内中枢部と並んで、広島県内で二カ所だけの人口増加地域となっています。その点は救いとなるでしょう。

話をミクロに移して、「西条ロータリークラブの存続のために、会員増強をいかに成し遂げるか？」について考えてみたいと思います。

私の専門であるマーケティングでこの問題を捉えた場合、「西条ロータリークラブから捉えるのではなく、入会を検討する会員の視点で解決策を考える」べきだと考えます。入会を検討する方に対して、「西条ロータリークラブの存続」を訴えても、それは組織の都合でしかありません。そのためにも、組織の目的と理念を定義し、メンバー全員が共有することが必要です。

例えば、「社会正義の実現とそのための奉仕」「メンバー同士の心のふれあい」を目的に掲げたなら、それを実現するために、ぜひロータリーに入って欲しいと訴えることになります。現状では、西条ロータリークラブとは、どういう組織なのか？について、メンバー全員が共有する理念が存在しているようには思えません。

そこでまず、組織の目的を明確にした上で、今度は、入会を検討する会員の事情に配慮する必要があります。マクロ面とも関わってきますが、企業や病院など、営利組織が置かれている環境も激変しています。シャープや東芝の例を挙げるまでもなく、経営者の意思決定のミスにより、数年で存続の危機に立たされます。言い換えると、技術革新により、環境変化のスピードは上昇し続けています。そのため、たった5年前まで常識だったことが、非常識になり、それに適応出来ない企業は退出を余儀なくされます。そうした激しい社会環境の下、経営者は戦い続けているのです。つまり、時間が非常に貴重な資源となりつつあるということです。昼間の1時間を捻出するのがやっとの経営者は今後も増え続けることになるでしょう。そうした会員の抱える事情に対して、従来通りの対応を続けていては、会員は増えていきません。

今回は、マクロ、ミクロの大局の話に終始しましたが、そこから、より具体的なアクションにどう落とし込んでいくかは、これから委員会内で協議していくこととなります。

現在までの話し合いで、印象に残ったのは、会員全体がどう西条ロータリークラブの良さを伝えていくか、ある程度統一していくべきではないか？入会しやすい環境作り、入会した後も居心地がいいと感じられるような運営。入って欲しい人材の名前を共有し、複数の会員からアプローチし、状況を共有するプロセス管理。

以上、いずれにしても、社会全体の流れに逆らって会員を増やしていくためには、委員会メンバーだけではなく、組織全体で取り組んでいく必要があるという意識をもつことだと思います。

## 出席報告

会員数	38名	出席者	32名
欠席者	4名	免除者	2名
来訪者	2名	出席率	84.21%
7/20の欠席	7名	メイクアップ	7名
7/27の欠席	5名	メイクアップ	5名
		通算出席率	100.0%

## 幹事報告

## 委員会報告

○なし。

## お祝い時間

- 本人誕生日 要源会員
- ご主人誕生日 三木会員
- ご夫人誕生日 廣幡会員

## お客様

東広島21RC 財満 賢二 様  
西条RC奨学生 屈 凌 様

## スマイルボックス

- 米山功労者 [5回目] 廣幡会員
- 本人誕生日 要源会員 ○ご主人誕生日 三木会員
- ご夫人誕生日 廣幡会員
- 入会記念日 前垣会員、小早川会員、岩井会員、  
要源会員、新開会員、平賀会員、廣幡会員
- 会社創立記念日 前垣会員、高原会員、廣幡会員
- 「本日の週報に会長と元気になった私の写真が出ています。  
例会へ出席出来て嬉しく思っています。」 佐々木会員
- 「昨日広島大学で日本語、日本文化特別研修で4回目の「日本建築」という題で1時間半の講義をさせて頂きました。風土に寄り添った自然素材の住み良い建築を目指して頑張りたいと思います。ありがとうございました。」 高原会員
- 「井上会員(90歳)卒寿のお祝いをしたく思います。ご賛同いただけますでしょうか。」 廣幡会員

## 西条ロータリークラブ

創立 1964年5月11日

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

例会場 〒739-0024 東広島市西条町御菌宇円城寺 6950-2

グランラッセ東広島 TEL(082)423-3000 FAX(082)423-8649

事務所 〒739-0025 東広島市西条中央 7-23-35

東広島商工会議所会館 3F TEL(082)420-0320 FAX(082)420-0319

URL:<http://www.saijo-rc.jp>

E-mail:[saijorc@eagle.ocn.ne.jp](mailto:saijorc@eagle.ocn.ne.jp)

会長 金好 康隆

副会長 須賀 宏

幹事 武島 靖爾

副幹事 奥本 哲之